

競技注意事項

1 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項を適用する。

2 競技場使用上の注意

(1) 競走競技の決勝線到着後は場外へ退場する。本部席前は通行禁止とする。

(2) スパイクのピンは9mm以下とする。但し、走高跳については12mm以下とする。

3 招集について

(1) トラック種目の招集所は、白波スタジアムバックスタンド下、200mスタート地点側に設ける。フィールド競技は、現地にて招集を行う。

(2) 招集開始・完了時刻は競技順序に記載された通りとする。

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。

(4) 招集の手順

① 競技者は、招集開始時刻に招集所に待機し、最終確認を受けること。その際、ナンバーカード、競技用靴・衣類・持ち物等の点検を受けること。

② 招集所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

③ 代理人による招集の最終確認は原則として認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻前までに招集所に届け出ること。

④ リレー競走に出場するチームは、その種目（1組）の招集完了時刻の1時間前までに招集所に用意してあるオーダー用紙に、オーダーを記入し、提出すること。（ユニフォームは原則同一のものを着用すること。）

⑤ 出場種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに招集所に届け出ること。

⑥ 混成競技の招集は、最初の種目については、タイムテーブルの招集時間のとおり招集所で行う。2種目以降は、各種目の競技場所で確認を受ける。

4 競技運営について

(1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載とおりとする。

(2) トラック競技で棄権者のある場合は、そのレーンをあける。

(3) 予選のあるタイムレースの競走競技種目は、タイムの上位8名（チーム）で決勝を実施する。ただし、同記録多数の場合は競技会規則第167条により抽選を行う。

(4) 競技前の跳躍、投てきの練習は審判員の指示によって行う。

(5) 800mの予選はオープンレーンとし、決勝は第一曲走路出口のブレイクラインまでセパレートレーンとする。

(6) 3000mではグループスタートを用いることがある。

5 器具及びハードルについて

用器具は、競技場備付のものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り競技開始前に現地で検査を受け合格した個人所有の使用を認める。

ア ハードルは次の規格で行う。

種目	ハードルの高さ	スタートから第1ハードルまで	インターバル	最終ハードルからゴールまで	ハードル数
男 110mH	91.4cm	13.72cm	9.14cm	14.02cm	10
女 100mH	76.2cm	13.00cm	8.00cm	15.00cm	10

イ 砲丸投の砲丸の重さは、男子5.0kg、女子2.71kgのものを使用する。（但し、四種砲丸は、男子4.0kg、女子は2.71kg）

6 走高跳、棒高跳のバーの上げ方について

走高跳

	練習			
男子	1m35	1m40-45-	(5cm単位)-75	あと3cmあがり
女子	1m20	1m25-30-	(5cm単位)-45	あと3cmあがり

棒高跳

2m00-20-(20cm単位)-3m00	あと10cmあがり
-----------------------	-----------

※練習の高さは、フィールド審判長が決定する。

四種競技 走高跳

	練習			
男子	1m25	1m30-35-	(5cm単位)-70	あと3cmあがり
女子	1m05	1m10-15-	(5cm単位)-35	あと3cmあがり

7 ナンバーカードについて

協会登録のナンバーカードを胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技の競技者は背または胸につけるだけでもよい。

8 表彰について

各種目1位にバッジ、1位～8位まで賞状を授与する。（ただし、リレーは3位まで）

9 その他

- (1) 四種競技のそれぞれの種目で標準記録を突破しても、単独種目の全国大会参加は認めない。
- (2) 参加者の競技中の発病、負傷については、主催者は応急処置のみを行い、他の一切の責任は負わない。
- (3) 不明な点は本部（総務）に問い合わせること。

10 練習について

- (1) ウォーミングアップ及び練習は、補助競技場で行うこと（通行人等の妨げや事故のないよう安全に留意すること）。ただし、指定された時間内において、本競技場での練習を許可する。
- (2) 練習については、練習場係に従うこと。
- (3) 投てき練習は、競技時間前の競技場内に限る。

(4) 練習会場使用日程は次の通りとする。

本競技場	7：30～8：30 1～3レーン 長距離 4～8レーン 短距離 メインストレート ハードル
補助競技場	7：30～17：00 1～3レーン 長距離 4～8レーン 短距離

(5) バックスタンド下（雨天練習場）は、使用できません。

11 その他

- (1) 事故発生については、主催者は応急処置のみを行い、他の一切の責任は負わない。
- (2) 一般の方が競技者を撮影する場合は、競技役員の指示を守ってくださるようお願いします。
- (3) 競技会で使用する略語・略号について

NR：日本記録，NHR：全国高校記録，PR：県記録，PHR：県高校記録，PCR：県中学記録

GR：大会記録，DNS：欠場，DNF：途中棄権

DQ：失格，○：有効試技，×：無効試技，－：パス，r：試技放棄

- (4) 新型コロナウイルス対策については、鹿児島陸上競技協会のHPをご覧ください。